



# 特集

## 学校給食を見る

一月二十四日から三十日まで「給食週間」。

日頃、何げなく食べている給食を考え直し、学校給食のはじまりや給食のために働く人々に感謝する心を養い、心のふれあいを深めていこうと昭和二十一年に定められたものです。

今月号では、この週間にちなみ、本町の学校給食の状況はどうなっているのか、スポットをあててみました。

## 一日二五〇〇食

現在、給食センターでは、小学校と中学校合わせ一日になんと二千五百食分、年間の給食回数では約百九十回つくっています。

### 給食費

#### 一食当り

小学校一六〇円  
中学校一九七円

センターの職員は、現在一般事務職一人、県派遣の栄養士一人、運転手一人、調理員九人の総数十二人で運営されており、材料(物資)の購入・献立・調理作業など、仕事の能率化と事故防止のためにそれぞれ分担を決め運営しています。

給食費については、小学校と中学校では、少し差がつけられています。体格の違いもあり、育ちざかりの中学生には量が多くなっています。一食当りでは、小学生で一六〇円、中学生では一九七円となっており、月額にすると、小学生二、七〇〇円、中学生三、四〇〇円、毎月毎月納められた給食費は、食材料費にあてられています。

特に、衛生面においては、調理員・食品・施設・設備など細心の注意をはらっているのです。

また、各小中学校の先生と育友会の代表を交じえて、毎月献立委員会を開催し、パランスのとれた給食をと、前月分の反省と翌月分の献立などについて真剣に討議が続けられています。

また、今年度の学校給食関係に対する町予算は、約五、三〇〇万円が計上され、燃料費・備品購入・人件費・電気水道などの経費にあてられ、一部は国の助成も受けているところだ。



### 波佐見町

#### 学校給食の歴史

昭和三十八年四月一日

南小完全給食開始

昭和三十八年十一月一日

粉ミルク開始(東小・東中・南中)

昭和四十四年三月

学校給食センター完成

昭和四十四年四月

完全給食開始(小・中センター方式)

昭和五十二年十月

米食給食開始

(月一回)

昭和五十四年十月

米食給食開始

(週二回実施)

牛乳 31円75銭	+	ごはん	+	パン	+	おかず
		(小) 33円62銭 (中) 42円32銭		(小) 94円63銭 (中) 122円93銭		



パランスのとれた給食をと毎月開催される献立委員会

# 米飯給食

## の移り変わり

昭和五十二年に、月一回から二回の割合で始まった米飯給食。その後五十三年に月三回、五十四年の上半期（四月から九月）には週一回実施され、さらに同年十月から今日まで週二回実施されてきたところです。

この週二回は、アンケートなどにより一番希望が多かったもので、週二回のペースで実施した場合、年間の米使用量は、約一九万七千一食あたり小学生八三万、中学生一一〇万食とステンレス製。昭和五十三年から今日まで使用されており、パン皿でごはんを食べているのが実情で、「そろそろ食器の入れ替えの時期がきている」とも聞きます。このような中で、各方面から「給食食器は陶磁器製のもの」と声があるのも事実です。現に、他県のやきもの産地の給食にやきもの食器が使われており、窯業を基幹産業とする本町にとっても、是非導入してほしいと思われま

どうなる  
給食器？

今の給食器は、アルマイト製とステンレス製。

昭和五十三年から今日まで使用されており、パン皿でごはんを食べているのが実情で、「そろそろ食器の入れ替えの時期がきている」とも聞きます。

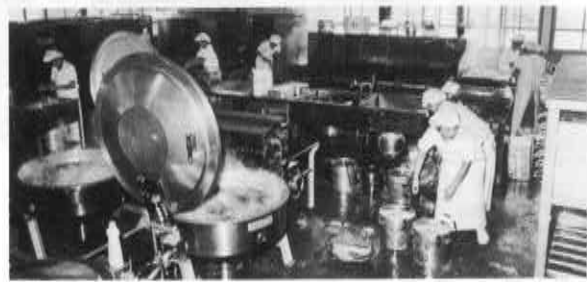
このような中で、各方面から「給食食器は陶磁器製のもの」と声があるのも事実です。現に、他県のやきもの産地の給食にやきもの食器が使われており、窯業を基幹産業とする本町にとっても、是非導入してほしいと思われま

しかし、導入するにあたっては、調理場の施設や、洗浄器、保管庫などの設備の改善

器、保管庫などの設備の改善



▲1月27日には、町教育委員さんら9人を招待しての試食会が開催されました。この日の献立は郷土色豊かなものをと芋ごはんにすいとん、タラ・コンブの煮こみなど。

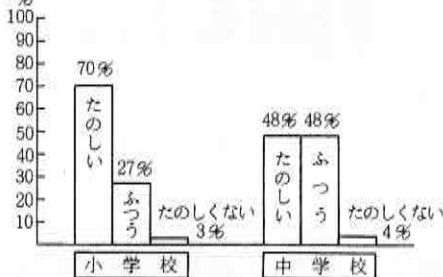


▲給食センター内

調理員の増員をはじめ、従来より重くなる、かさばる、われやすいというハンディーがあるため、学校現場や調理現場又、運搬上でのシステムの改善など、さまざまな問題点が浮かび上がってくる事が予想されます。今、町では、県窯業試験場と連携し、「やきもの給食食器」の試作に取り組んでおりますが、今後、学校給食運営上の課題とやきもの食器の利点、欠点を見きわめ、さらに各方面からの意見を聴きながら、将来の学校給食の食器はどうかあるべきか、充分論議をかわす必要があると思えます。

### 昨年実施されたアンケートの一部を紹介します

#### 給食時間は楽しいですか



☆理由はさまざまで「楽しい」と答えた人は班の人や友だちと仲よくしゃべりながら食事ができると言っています。又、少数の「楽しくない」と答えた人は、給食がきらい、おいしくない、班の人としゃべらないとのべていました。



#### ☆給食の残量です

(昨年6月分)

日	残量	残食率	献立	日	残量	残食率	献立
2	13 <sup>kg</sup>	2 <sup>%</sup>	コーンシチュー	18	52 <sup>kg</sup>	7 <sup>%</sup>	やさいあん
3	68	18	干大根煮	19	72	10	厚揚げとじゃが煮
5	71	10	むらくもスープ	23	27	4	マーボー豆腐
6	50	9	やきそば	24	39	13	ひじき煮
9	19	10	いりどうふ	25	35	5	にんじんポタージュ
10	107	17	かぼちゃ煮	26	15	2	ハヤシライス
11	29	11	ばんさんすう	27	15	2	スパゲティ
12	90	14	きんぴら	30	30	7	すぶた

# 初優勝飾る!!

## 第31回波佐見一周駅伝大会



第三十一回波佐見一周駅伝大会(町体育協会主催)が、一月二十五日、町内七区間(二十九・八キロ)のコースで行われ、参加三十二チーム・二百二十四選手が、小雪舞う悪コンディションの中で健脚を競いました。

午前九時十分から開会式が行われ、永年町体育振興にご尽力された、福田寛吾前体協会長と松尾均前体協副会長に対し、感謝状が手渡された後、

昨年優勝した村木チーム・細川和徳選手が力強く選手宣誓。十時中学校前を一齐にスタートしました。

### レース展開

レースは、スタートから風雪との戦い。一区には、毎年学生選手が多く、今回も二十四チーム。その中で若手に負けじとトップでタスキを渡したのが、三十四歳の渋江利之選手(協和)。

沿道からの盛んな声援を受けながら各選手ドローツと御堂中継点へ。

二区(最短二・四\*)は、田崎稔宏選手、川内・井石をすぐに追い抜き、

三区(四・四\*)では、上田和也選手といずれも中尾チームが区間最高で快走。また、三区森山浩一選手(川内)が十六人抜きを演じたのが光る。

前半最終区の四区(五・二\*)では、三区まで上位につけていた乙長野Aが、古達隆樹選手の力走で一挙にトップにおどり出て、二位宿に四十五秒・三位村木に一分二十秒の大差をつけ前半ゴール。

再スタートの後半五区(五・八\*)では、田中正継選手(井石A)が、すぐに飛び出し同区間の記録を三秒縮める十七分五十四秒で新記録を達成。

六区(四・四\*)は、五区四位でタスキを受けた、得永健選手(乙長野A)が、前を走る金屋・川内・井石をすぐに追い抜き、

そのいた天ふりは見事の一言。最終の七区(皿山一中学校四\*)は、トップを走る乙Aを、村川和法選手(川内)が見事とらえ、昨年後半トップの意地を見せつけました。

結局、総合で前半一位後半二位と圧倒的な力を出した乙長野Aが、過去三回協和との連合で優勝経験があるものの、今回見事初の単独優勝を飾りました。

二位の村木をはじめ、上位にくい込んだ宿・鬼木・川内の健闘ぶり。躍進賞(二十五位→十五位)に輝いた三股。そして、風雪の中にもかかわらず、力強い沿道の声援で盛り上がりを見せた今年の一周年駅伝大会。

来年の各チームの活躍を期待します。



▶初優勝を飾った乙長野チーム

### 総合順位表

順位	チーム名	所要時間(時分秒)
第1位	乙長野 A	1.39'41"
第2位	村木 A	1.42'06"
第3位	宿 A	1.43'30"
第4位	鬼木内 A	1.43'59"
第5位	折敷瀬 A	1.44'56"
第6位	折敷瀬 A	1.44'58"
第7位	井石 A	1.45'33"
第8位	皿山 A	1.45'35"
第9位	中尾 A	1.46'57"
第10位	無田 A	1.47'28"
第11位	尾屋 A	1.47'47"
第12位	金屋 A	1.47'58"
第13位	乙長野 B	1.48'13"
第14位	野々川 A	1.49'42"
第15位	三股 A	1.51'03"
第16位	三股 B	1.51'23"
第17位	協和 A	1.52'44"
第18位	小村 B	1.52'56"
第19位	村木 B	1.53'09"
第20位	永尾 B	1.53'14"
第21位	甲野 B	1.53'18"
第22位	田ノ頭 B	1.53'24"
第23位	無田 B	1.53'54"
第24位	宿 B	1.54'01"
第25位	井石 B	1.54'28"
第26位	折敷瀬 B	1.55'18"
第27位	折敷瀬 B	1.55'33"
第28位	折志村 C	1.55'59"
第29位	木田 C	1.57'55"
第30位	岳田 C	1.59'35"
第31位	湯無 B	2. 1'31"
第32位	金屋 B	2. 1'57"



# 乙長野A



一斉にスタート(中学校前)



五区再スタート(寺ノ下付近)  
先頭は新記録をつかった田中選手(井石)



いよいよ中尾坂へ



選手番号は  
20  
選手名は  
村川和法  
所属は  
川内

## (区間賞)

(敬称略)

区間	距離	選手名	チーム	タイム	大会記録
1(中学校一御堂)	3.6	渋谷利之	協和	11分42秒	11分38秒 田中正継(井)
2(御堂一三股)	2.4	田崎稔宏	中尾	8' 03"	7' 50" 本山伝衛(乙)
3(三股一中尾)	4.4	上田和也	"	15' 07"	14' 24" 吉武利勝(折)
4(中尾一舞相)	5.2	古達隆樹	乙A	16' 06"	15' 16" 内田信好(折)
5(舞相一平野)	5.8	田中正継	井A	新記録 17' 54"	17' 57" 森浦好雄(宿)
6(平野一皿山)	4.4	得永健	乙A	15' 22"	13' 47" 中村新吾(皿)
7(皿山一中学校)	4.0	村川和法	川内	13' 09"	12' 29" 吉武正徳(折)



▲後半トップでゴール!!  
川内チーム(村川和法選手)



よう走ったなー!!



しっかり頑張って

▶20回出場を果たした  
山下憲治さん(村木)



# 国民健康保険 特集号です



## 老人保健法など

### 改正されました

昭和五八年二月に制定された老人保健法が、昨年十二月の国会において改正され、昭和六二年一月一日から施行されることとなりました。そこで今回改正された内容のあらましについてお知らせします。  
・老人医療費の一部負担金が引き上げられました。

老人保健法の適用対象となられる方の医療費の一部負担金が次のとおり引き上げられました。

現行 → 改正後

外来一か月四百円→八百円  
入院 一日三百円→四百円  
〔二か月限度↓限度なし〕  
ただし入院の一部負担金について、町の認定を受けた方については、従来どおりとなります。

・老人保健にかかる費用負担の区分が改められました。

老人分の医療費については総費用の七〇割について、国保を始めとする医療保険制度で負担し、残りの三〇割について国と県と市町村で負担することとなっていますが、この内国民健康保険の負担割合が下り、各保険制度間の負担の公平化が図られました。  
・老人保健施設が設けられることになりました。

今後増大するねたきり老人の介護を中心とする新しい施設として、「老人保健施設」が設けられることになり、六十一年度中に試行的に全国で十か所程度創設されることになりました。

## 保険料は 必ず期限内に

国民健康保険では、これまで医療の給付と保険料は別、という考えに立って、特別の理由がないのに保険料を長期にわたって滞納している人に対して、保険証を使って保険給付を受けること（病院などで治療を受けること）や、助産費、葬祭費、高額療養費

の給付を行ってききましたが、今回の改正でこれらの滞納者に対して、保険給付の差し止めが出来ることとなりました。  
※保険料は必ず期限内に納めましょう!!

## 健康と 幸せとは

お年寄りは体力が衰えている上に孤独になりがちです。  
お年寄りに一番大切なことは、周囲の者がお年寄りの健康状態を良く知った上で、その日常生活にあたたかく気くばってゆくことなのです。  
みんなでお年寄りに合った仕事や、奉仕活動をしてもらったり、軽い運動や趣味を通じて、お年寄りが生きがいのある生活を送れるよう配慮したいものです。

お年寄りに健康と幸せを!!



健康づくり……やっぱり楽しくなくては

# かかりつけの

# お医者さんを!!



一家に一人ホーム・ドクターを——。ふだんかかりつけのお医者さんを決めておくことは大切なことです。あなたの健康状態を良く知っているお医者さんは、病気のときは

勿論日頃の健康の支えにもなってくれます。行き届いた健康管理は、あなたと医師と国保の三人四脚で行われるのが望ましいのです。

## 健康はあなた自身が つくるものです

あなたの健康はあなた自身がつくってゆく以外にありません。健康管理は一人一人が責任をもって考え、実行してゆくものなのです。病気になってから健康のありがたさに気づくようでは遅すぎます。

今、あなたは健康づくりのために何をやっていますか？別にむづかしく考えることはないのです。散歩、体操などあなたの心がまえていつでも簡単にはじめられます。さああなたも今日から、自分で出来る健康づくりに挑戦してみてください。

このほど新しい国保運営委員に選ばれた馬場百枝さん(中尾)にちよつとインタビューしてみました。

**問** 国保運営委員を初めて経験されてどんな感想をお持ちですか？

**答** 初めの内は歳入や歳出という言葉さえよく判らず、これで自分のような者がお役に立てるのだろうかと思っていました。したが、これを機会に国保に対しても強い関心が持てるようになりました。

また私は、ある程度年も取っているもので、自分の判っていることや、知っていること

のみに気持ちが傾き勝ちで、判らないこと、面倒なことにはなるだけ触れたくないという気持ちがありました。この役を与えられてそういう訳

にも行かなくなり、良い勉強になったと思っています。

**問** これからの高齢化社会に向けて、行政(役場)は何を重視してゆくことが望ましいと考えますか？

**答** 行政のことは良く判りませんが、今の社会を見ていて感じることは、全体として社会の風紀が乱れているのではないかと、という感じがします。昔の清貧という考え方が欠けているのではないかな？と思います。

若い人達には私達の知らない世界がありますが、もう少しスッキリとしたものが欲しいな、という気持ちがしております。

**問** 「自分の健康は自分で守ろう」と言われるように、健康管理はまず自分自身の手で行うことが大切であると言われますが、ご自分で何か健康管理のためにやっていること

また、保険に加入していない人がいないように保険の制度が生かされて、運営がうまくゆくようにこれからも工夫を重ねて欲しいと思います。

や心掛けていられることがありませんか？

**答** 私はひとりであることが多いので、午前と午後には放映されるテレビ体操を見て自分で出来ることをするようにしています。

ひとりであるので、ゆつくりとマイペースでやれるのが良いと思っています。

食事の面でも、栄養のバランスや減塩の面などいつも考えてはいるのですが、ひとりである時はついおっくうになることもありそうです。

**問** これからの国保に期待することや、やって欲しいと思うことがありますか？

**答** 保険料の滞納をなくし、また、保険に加入していない人がいないように保険の制度が生かされて、運営がうまくゆくようにこれからも工夫を重ねて欲しいと思います。



## 一般健康診査を 受けましょう

一年に一回実施されます—

検査の内容は、身体測定、尿検査、血圧測定、心電図、眼底検査、血液検査となっており、診査結果により病院を紹介したり、保健指導、栄養指導を行います。

ぜひ年に1回は健診を受けましょう。

シリーズ

まちづくり

その10

今、波佐見を  
考える

このコーナーでは「まちづくり・今波佐見を考える」と題して、皆様からの「意見を登載し、みなさんとともに郷土・波佐見を考えたい」と思っています。

# 熱意と工夫を持って

野々川郷 佐々木 謙 (農業 30歳)



私は、高校卒業と同時に茶業経営に取り組んできた。早いもので十余年の歳月が流れようとしている。この十余年間、農業情勢はきびしくなるといわれつつ今だに見通し明るい詳しい情報は私たちの耳に入っていない。

波佐見町は、水田の基盤整備が充実化され、私の住む野々川地区が最後で殆ど完成するということだ。

しかし、減反問題は厳しく、あと何年かすれば減反はしなくともよいだろうと言われながら来年からはもっと厳しくなるともきく、はたして多額

の費用をかけて水田を整備したところで、それに要した借金が水田だけで返済出来るかどうかという疑問がわいてくる。また、農業をするものにとつて自分の土地に好きな作物をつくれないうことほど情けないことはない。減反問題の改善を望みたい。

さて、先日「農業振興会」の席において先輩の方から「土地の交換分合」という話を聞いた。農家の人達の経営する土地は、現在数ヶ所に散らばっていると思う、機械の運搬、防除、管理等のさい非常に時間にむだができ、目もいきとどきにくい、これを近くの人の土地と交換しあい合理的に経営をやっていくというものである。むだのない作業によって、作物の品質改善につながるということも考えられる。

先祖代々の土地というものは大変大事であるが、今後の経営の為、後継者育成の為に「土地の交換分合」という考えを理解してもらい町が窓口になって、各個人実現させてもらいたいものだ。

現在、農協婦人部の人達が中心になって、毎月第二日曜日に「朝市」が勤労者体育センターで行われている。自然栽培でとれた、新鮮でうまい野菜等がいつもたくさん販売されている。私達野々川茶業青年部も、部落のお茶屋さんから集めたお茶を、野菜等と同様格安で販売している。

商工会の方々にはいろいろな意見があられると思うが、是非一度見に来てもらいたい。私の考えとして波佐見でとれる農産物は、波佐見の人に食べてもらいたい、それで店先にでも〇〇婦人部の農産物と

かいて販売してもらい、好評なら婦人部の方々と契約していったら、お互い利点が出てこないだろうか。近年非常に全国的に堆肥の施用が見直されてきている、波佐見町においても、農協の堆肥が出来た。パーク堆肥は問題ないが、外材が多く入った堆肥は作物の根に害をおよぼすと聞く。そこで、自分でとられる材料で出来る堆肥、たとえば、稲わら堆肥、れんげそう堆肥、土こうじな

ど、こうゆう物の造り方、作物に就いての投入量などの講習会を当町でも行ってもらいたい。最後に今後波佐見町の基幹産業である繭業、農業の発展のため、何事にも研究心を持ち、自分の栽培した農作物、あるいは、自分で造った焼物を積極的に人から評価されることも必要である。よって今まで以上に自分の仕事に励むと共に、熱意と工夫をもつて、明るい、住みよい、町づくりに努力したい。



仲間と積極的に先進地を視察しています。(鹿児島県で)





私たちの頼いは、何といっ  
ても健康ですね。  
でも、ちよつとした油断で  
いろんな病氣やけがに見舞わ  
れることがあります。  
こんな時、お世話になるの  
が、お医者さん。

このコーナーでは、東彼  
師会の皆さんから、病氣やけ  
がに關する心がけや応急措置  
などについて、ご意見をお寄  
せいただき、みなさんと一緒  
に健康について考えてみたい  
と思います。

# 「やけど」について

東彼医師会 平

芳次(東彼杵町)



「やけど」の犠牲者は、火、  
熱湯、蒸氣、化学薬品、日焼  
けなどで現代でも数多く認め  
られます。「やけど」で最も恐  
ろしいのは、生命の危険と後  
遺症で癩痕による機能障害と  
醜形による精神的苦痛が生涯  
つきまとうことです。

「やけど」は症状により第I、  
II、III度と分けます。

第I度は水腫、紅斑、灼熱  
感がある程度で3日以内に消  
失します。

第II度になると水疱が出来

びらんを伴い4週間を要しま  
すが癩痕は残りません。  
第III度は深部まで壊死を生  
じ、二次感染を起しやすく癩  
痕拘縮を残します。

軽い「やけど」ならすぐ水  
道水で冷すか、冷水にひたし  
ましょう。これで熱の作用が  
皮膚の深部に達するのを防ぎ、  
痛みをやわらげます。

範囲が広いと二次感染がな  
くとも発熱することが多く、  
第II度で全身体表面の1/2以上  
第III度で1/2以上では生命の危  
険があります。

化学薬品の「やけど」は特  
殊作用が働きますので医師の  
治療はかならず受けて下さい。  
この様な「大やけど」の場  
合は衣類の上から冷たい水で

5分以上冷し、服は無理に脱  
がさずシートで体をくるんで  
救急車を呼ぶか、急いで医師  
のとこに運びましょう。  
冬の季節は「やけど」が多  
くなりますから予防に気をつ  
け、軽度でも決しておろそか  
にしない様にして下さい。



## なくすな緑なくそう山火事

2/28〜3/13 春の火災予防運動

この時期は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。  
本町でも昨年、この時期に五件もの山林火災が発生しています。  
火の取扱いは、特に山林の火入れにはくれぐれも注意したいものです。  
ちよつとした火災は、自分たちで消火できますが、片付けてしまっ  
てからは罹災証明ができません。  
必ず、そのままの状態で、消防署へ届け出るようにしてください。

## 健康シリーズ 食事上手は 塩分ひかえめ

- 二月もかけ足で終わ  
ろうとしています。  
一年中で一番寒い時期で  
すが春の足音が待ちどおし  
いのもこのごろです。  
寒い時には食卓にも、体  
の暖まる献立が多くなるよ  
うです。お正月の御馳走と  
アルコールの勢いで、濃い  
味にもどつたということが、  
ありがちです。改めて次の  
「減塩十か条」をチェック  
してみ、食事の中で生か  
していただきたいと思いま  
す。
- ①漬物は一夜漬で。
  - ②煮物はだし汁で煮て最後  
に味つけを。
  - ③塩焼の、ふり塩はやく直  
前に。
  - ④酔味や香りで薄味を補う。
  - ⑤調味料は、かけるより、  
つける。
  - ⑥卓上正油は、だし割正油  
なら量的にも満足感。
  - ⑦血圧を上げるといわれる  
食塩中のナトリウムは、  
化学調味料にも含まれる  
ので使いすぎに注意。
  - ⑧塩辛く感じない加工食品  
の塩分に注意。
  - ⑨温かいうちに食べる。
  - ⑩献立には塩味、甘味、酸  
味料理を組み合わせると、  
料理は薄味でも満足感が  
得られる。

みんな  
のひろば

昭和62年2月号

## ハイレベルの攻防に魅了!!

### 全国実業団バレーボール大会

第18回全国実業団バレーボール選抜男女リーグ長崎県（波佐見）大会が、1月10日勤労者体育センターで開催され、ハイレベルの攻防戦に、約1,200人の観衆を魅了しました。

出場したのは、男子が帝人とNTT東海。女子がNTT関西神戸と久光製薬。

新町30周年記念にと、町バレー協会員の働きかけで実現したもので、会場には、小中学生から一般までのバレーボール愛好家であっぴい。サーブ、レシーブ、アタックと一つ一つの素晴らしいプレーに盛んな拍手が送られていました。

試合の結果は次のとおりです。

〈女子〉

久光製薬③-0 NTT関西神戸

15-9  
15-8  
15-7

〈男子〉

帝人③-1 NTT東海

15-3  
15-12  
5-15  
15-6



息づまる攻防・帝人対NTT東海戦

## 新しい 集会施設完成!!

新農業構造改善事業の一環として工事を進めていた、永尾郷と小樽郷の構造改善センターがこのほど完成。新しい地区の拠点として、今後活発なふれあい運動が展開されることでしょう。

○永尾構造改善センター

総事業費 31,513千円

建築面積 約335平方メートル

○小樽構造改善センター

総事業費 25,525千円

建築面積 約282平方メートル

永尾構造改善センター



小樽構造改善センター



初銀世界!!

今年初めての銀世界。

一月十二日から十三日にかけて降った雪；積雪は約五センチ。

十三日早朝は、路面も凍結

登校する子どもたちも滑らないようにと一つになく慎重な足どり。

それでも、歓声を上げながら元気に学び舎へと向います。



みなさんからの  
ホットな情報お待ち  
しています!!

☎ 85-2111 番  
編集室(役場企画係)

おもしろば

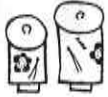
# 波佐見焼をPR▶

## 伝統的工芸品展 東京



第十一回全国伝統的工芸品展（伝統的工芸品産業振興協会主催）が、一月九日から十四日まで東京（西武百貨店）で開催されました。

今回は、全国三三三工芸品約三、六〇〇点を展示。うち本町「波佐見焼」コーナーでは、伝統工芸士八人の作品三九点が並べられ、訪れた人たちの目を引いていました。



# 6億8千万円で成約▶

## 新春大販売会



恒例の新春大販売会が、1月7日勤労福祉会館を主会場に開催されました。

窯元35社の新作がずらりと並べられた会場では、各地から訪れた商社マンと活発な商談が展開され、工夫をこらした自慢の新製品PRをと、終始熱気がこもっていました。

なお、今回の成約高は昨年をやや下回る6億8千万円と関係者はまずまずといったようすでした。

この日の成果が、今年一年の業界の動向を占う一つの材料といわれますが、低迷する陶磁器産業の中で、今後活発な新デザインの登場を期待したいと思います。

# 復活「鬼火たき」

一年を元気に過ごそうと一月七日の明け方には、各地で鬼火たきが行われますが、井石郷（上井石地区）でも、数十年ぶりに復活。午前六時ごろ近くの子どもら約三十人が集り、持ち寄った「しめ飾り」などを燃やし、また、残り火で焼いた、餅を食べながら、「無病息災」を祈りました。



# 寒さに負けない

## 校内マラソン大会

南小学校（三溝貞男校長五二五人）では、一月二十四日校内マラソン大会を開きました。寒さに負けず元気いっぱい学校生活を送ろうと、今年も低学年から高学年まで、それぞれコースを変え、寒風の中を駆け回っていました。



# 期間中にぜひ確認を

## 固定資産課税台帳の縦覧

自分が所有している土地や建物などの固定資産がどれだけあるのか。又、評価額や税額はどれくらいになっているのか。など固定資産課税台帳の内容を本人に確認していただくために、縦覧期間が設けられます。

本年は、三月二日から二十日まで(日曜日及び土曜日の午後を除く)の間、町役場税務課の窓口で行います。



耳の日 (3月3日)

内容が正しいかどうか、この期間中にぜひご確認ください。

### 63年度から新地積に

固定資産税の課税対象となる土地や建物の評価額は、三年毎に見直しを行うことになっています。いわゆる「評価替え」と言われるものですが

(3/1 ~ 3/20)

次の評価替えは昭和六十三年一月一日となります。現在、土地の評価額は、国土調査事業(地籍調査)以前の地積で算定しています。昭和三十三年度から始まった地籍調査事業が、六十一年三月末で、全町分すべてが完了しました。

この新地積への切り替えは評価替え時に行うことになっていますので、昭和六十三年度から地籍調査後の地積によって、課税されることとなります。

## 申告は正しくお早めに!

### 確定申告はお済みですか!!

#### 所得税・贈与税の申告は

三月十六日(月)まで

所得税の確定申告は

二月十六日—三月十六日(月)

贈与税の確定申告は

二月一日—三月十六日(月)

毎年三月十日を過ぎますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくことがありますので、申告はできるだけ早めにお済ませください。

なお、確定申告のお尋ねは税務署(電話2161)にどうぞ。

また、期限までに申告をしなかつたり、誤った申告をしたりしますと、後で税務署の調査によって、不足の税金を納めただけでなく、加算税や延滞税などの余分の税金を納めることとなりますので正しく申告しましょう。

## し尿浄化槽の検査は必ず受けてください!!

—大村保健所から—

し尿浄化槽を設置・管理されている方は、日常の維持管理や清掃のほかに、年1回県が指定した下記指定検査機関による法定検査(外観・水質書類検査)を受けるよう浄化槽法により義務付けられております。

まだ、受検されていない方は、必ず次の指定検査機関に受検の手続きをしてください。

(問合せ、依頼先)

◎指定検査機関  
(財)長崎県浄化槽協会佐世保支所(〒857・佐世保市天満町1~11・吉原ビル1階・電話0956~25~8534)

◎検査実施期間  
昭和62年1月から3月まで

## 寄付お礼

波佐見ライオンズ  
児童文化基金に  
三九六万円寄付!!

方に心から厚くお礼申しあげます。

町長 兒王 薫  
教育長 田崎恒夫  
青少年健全育成会議会長 野中武彦

緑化強調期間  
(3月1日~5月31日)

波佐見ライオンズクラブでは、結成二十周年を記念してこのほど、町児童文化基金へ三百九十六万五千円という多額の寄付をされました。

同クラブの個人三十六人、会社・法人等二十八社のご芳志によるもので、今後、青少年の健全育成のため活用することになっていきます。ご寄付いただきました皆様





# お知らせ

※掲載ご希望の方は、  
ご連絡ください

## 児童手当

児童手当法が、昨年六月一日から改正されましたが、暫定措置として六十二年四月一日から一年間は、次のとおり支給対象範囲が変わりますので十分ご注意ください。

### ▼第二子分(拡大)

五十八年四月二日以降に生まれた児童を含む二人以上の児童→新規申請・増額改定請求が必要です。

### ▼第三子分(縮小)

五十三年四月二日以降に生まれた児童を含む三人以上の児童→現在受給者であり、十八歳未満の児童を三人以上おもちの方で、三子目以降が満九歳以上になられる方については、六十二年三月三十一日をもって資格喪失又は減額となります。

## 支給範囲 変わります

なお、申請に必要なものは、印鑑、保険証、預金通帳(本人名義)で、手続きは三月三十一日までに済ませてくださいます。

詳しくは、役場住民福祉課(福祉系)までお問い合わせください。

## 広げよう 緑を育てる 愛の輪を

「緑の羽根」募金  
一本30円

緑豊かな郷土を築くため、みなさまの温かいご理解とご協力をお願いします。



## 男女雇用機会 均等推進標語

労働省と勤女性職業財団では、雇用における男女の均等な機会と待遇が着実に実現し、社会一般の理解を深めるため標語を募集します。

### ▼テーマ

○男女の均等な機会と待遇の実現を促すもの  
○女子労働者の職業意識の向上

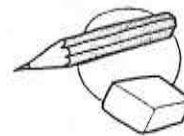
六十二年度の電気工事士試験の受験願書受付期間が、三月十九日から四月三日と決ま

## 電気工事士試験

六十二年度の電気工事士試験の受験願書受付期間が、三月十九日から四月三日と決ま

上と能力の開発を促すもの  
▼応募方法：官製ハガキに標語・住所・氏名・性別・年齢・職業などを明記してください。  
○一人何点でも結構です。  
▼切り：二月二十八日  
▼応募先：長崎婦人少年室(長崎市岩川町十六・一八長崎合同庁舎内、☎〇九五八(四)四三八四番)

りました。  
▼筆記試験 五月三十一日(日)  
▼技能試験 七月二十六日(日)  
なお、受験準備講習会が、五月と七月に開催されます。  
詳しくは、佐世保技能開発センター(☎五八一三一八番)へおたずねください。



## よろしくお願ひします 新しい民生児童委員さんです

昭和61年12月1日付で民生児童委員の改選が行われ、次の方々が生厚大臣及び知事から波佐見町民生児童委員として委嘱されました。

任期は、3年です。

民生委員は、人間愛、社会愛にもとづく社会奉仕の精神をもって、保護指導に当たり、社会福祉の増進に努めることとされており、今後のご活躍を期待いたします。

なお、今回ご勇退された委員の皆様には、永年にわたり大変ご苦労さまでした。(敬称略)

担当地区	氏名	担当地区	氏名
中尾郷	堀江美代子	折敷瀬郷	松本 功
三股郷	白木 信雄	宿郷	中島 イト
永尾郷	尾上 照子	宿郷	森田 安次
小樽郷	高塚 和美	村木郷	溝口 繁蔵
野々川郷	井川 春美	皿山郷	小柳 幸
湯無田郷	一瀬 初子	榎木場郷	山下 倉蔵
湯無田郷	太田 春由	田ノ頭郷	平野 幸雄
湯無田郷	前田キクエ	川内郷	山口 幹
井石郷	岳村 久雄	岳辺田郷	山内 静
井石郷	小出 義輝	甲長野郷	岩永 光次
鬼木郷	上田 高男	乙長野郷	吉崎 岩男
金屋郷	浦川 正巳	協和郷	山下 和雄
折敷瀬郷	馬場 正義	志折郷	久村 久一
折敷瀬郷	田村 宗男	平野郷	福田 菊江

善意の窓

○香典返しにかえて  
 金屋郷 松尾キミエ様  
 御尊父故松尾嘉四郎様  
 野々川郷 川口 輝次様  
 御母堂故川口タヲ様  
 井石郷 山口 作男様  
 御夫人故山口マサ子様  
 千葉市 道添 博司様  
 御尊父故道添國重様  
 井石郷 馬場 シナ様  
 御主人故馬場改造様  
 井石郷 岩永 ヒサ様  
 御母堂故岩永タケ様  
 ○お見舞返しにかえて  
 川内郷 松川三次郎様  
 湯無田郷 石井 孝様  
 ○金一封  
 武雄市 中島 守様  
 以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。  
 それぞれの寄付に対し厚く

来月の納金

- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料

堤 英敏 佐世保市  
 豊田奈美子 折敷瀬郷  
 川原 浩幸 榑木場郷  
 橋本 信子 松浦市  
 竹本 成人 福岡市  
 小佐々悦子 水尾郷  
 小林 睦彦 小樽郷  
 山寄佐智子 井石郷  
 深草 澄則 折敷瀬郷  
 七種 洋子 宿郷  
 廣瀬 新吾 村木郷  
 山口久美子 伊万里市  
 光武 重則 村木郷  
 中村 誠子 村木郷

ご結婚おめでとう

子の名 親の名 住所  
 水田 真央 洋次 志折郷  
 辻 法子 守 井石郷  
 澤田健一郎 義満 金屋郷  
 田添 裕和 雅治 金屋郷  
 中野 弘稔 茂美 折敷瀬郷  
 福嶋 奏珠 正雄 宿郷  
 永田 小桃 神二 宿郷  
 中村 倫子 徹哉 皿山郷  
 楠本 典央 光徳 岳辺田郷  
 山川 量子 計司 協和郷  
 山口 泰平 信人 協和郷

お誕生おめでとう

お礼申し上げます。  
 波佐見町社会福祉協議会

おくやみ申し上げます

中村 松野 岳辺田郷 87歳  
 谷村 初一 志折郷 72歳  
 片山 ミト 野々川郷 91歳  
 岩崎 クミ 鬼木郷 64歳  
 原田 達美 鬼木郷 73歳

松田 モヨ 金屋郷 85歳  
 貝原 和夫 金屋郷 56歳  
 村岡 スミ 折敷瀬郷 76歳  
 岩永 咲子 折敷瀬郷 48歳  
 西 與四郎 村木郷 76歳  
 濱田 舜次 皿山郷 80歳  
 本石 タケ 皿山郷 86歳  
 前田 サキ 乙長野郷 85歳

谷本 國人 志折郷 48歳  
 おわび  
 先月号のお誕生おめでとうのコーナーで平岡夕紀(折敷瀬郷)は平岡夕紀の誤りでした。訂正し深くおわびいたします。

波高惜しくも 選抜出場ならず

▼今年の春の全国選抜高等学校野球大会の最終選考会が一月三十一日大阪市で開かれ、わが波佐見高校は、惜しくも甲子園切符を手にする事ができなかった。  
 ▼昨秋の九州大会(ベスト四)以来、波佐見選抜有望つなぐ、「九州代表の四校目は波佐見か○○か」と取りざたされ、さらに「ポーターラインの青春」として雑誌でスポットを当てられるなど、ここ二・三か月間というものの、部員たちの心は、期待と不安で激しく揺れ動いたことと思う。  
 ▼いよいよ発表の一月三十一日。同校事務室には、午後から野球部OBをはじめ後援会、町・報道関係者ら約二十人がかけつけ「吉報を」と待機



「夏で頑張ろう」と激励する馬場校長

ひっきりなしにかかる電話は、「選抜情報」の問い合わせ。片わらでは、シャツ

ターチャンスとばかりにその度構える報道関係者、ジーンと聴き入る父兄らの顔。胃が痛む時間が続く……まさに「波佐見で一番長い日」である!!  
 ▼午後四時四十分、馬場夫妻校長に「波佐見は選抜から漏れた」との連絡が入る。馬場校長はすぐにグラウンドへ——いつものように練習を続ける部員たちを集め報告。「残念ながら選抜出場校の線から漏れた。しかし

し、わが野球部はこれまでの実績を上げてきたし、高く評価されたと思う。  
 この悔しさを夏の大会でぶつけてほしい」と激励。口唇をかみしめる部員たちの目は、もう夏の大会に向っていた。  
 得永監督の号令で、ボジションにつきシートノックが始まる——いつもの元気がいっばいの声に戻った。  
 夕暮れせまるグラウンド、長い波佐見の一日が終わった。

今後温かい声援を!!

▼補欠校となった波佐見高。「選抜出場決定ともなれば、さぞ今ごろ町はお祭り騒ぎであつたらう」  
 しかし、今回の結果がどうあれ、波佐見の名をPRし、町民に夢と希望を与えてくれる波佐見高球児に、今後も、町民一体となり、温かい声援を送り続けることこそ、甲子園出場を期待する私たちの努めであることと忘れてはならない。